

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

■ 「仙台市みどりの基本計画2021-2030」の策定

仙台市【二号会員】

仙台市では、令和3年6月に「仙台市みどりの基本計画2021-2030」を策定しました。本計画では、本市がこれまで培ってきたみどりの多様な機能をまちづくりに積極的に活用する「グリーンインフラ」を推進することで、基本理念に掲げる「新たな杜の都」の実現を目指します。

● 杜の都のグリーンインフラ



杜の都のグリーンインフライメージ図

- 本市は名取川と七北田川の源流から河口までを市域に含み、奥山から里山、市街地のみどり、東部の農地、海岸林、河川等が連続しており、それらは防災、環境、レクリエーションなど多様な機能を発揮しています。
- 本市のみどりが持つ多様な機能に着目し、それを都市基盤として活用するグリーンインフラを推進することで、みどりにより、防災、環境、健康などの様々な分野での都市の機能を高め、新型コロナウイルス感染症による社会の変化にも対応した持続可能で魅力あるまちづくりに取り組みます。

● 具体的な施策について



ふるさとの杜再生プロジェクト
(第1回GI大賞受賞事業(防災・減災部門))

- みどりを生かした防災・減災の推進
海岸防災林の再生、雨庭の整備等による市街地の浸水被害の軽減など
- 都市ブランドである都心部のみどりの磨き上げ
建築物等の質の高い緑化の創出、拠点となる公園整備、街路樹等のみどりがある空間の利活用など
- 持続可能な管理体制の構築
施設マネジメントの推進、多様な主体・多様な手法による参加の促進など

詳細はこちらから ▶▶▶ 「仙台市みどりの基本計画2021-2030」
(<http://www.city.sendai.jp/hyakunen-chose/kurashi/shizen/midori/midori/kekaku/kekaku2021-2030.html>)

■ UR都市機構のグリーンインフラに関する取り組みについて

— UR都市機構の環境報告書「まち・住まいと環境2021」より —

平井 勝 (独立行政法人 都市再生機構) 【技術部会 幹事】

UR都市機構では、環境配慮活動の内容を環境報告書として取りまとめ、毎年公表しています。その中には、グリーンインフラに関する記述が多数あります。ここでは、その一部について紹介します。

報告書の全編はこちらから ▶▶▶ 「UR都市機構 環境報告書「まち・住まいと環境2021」」
(<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/kankyo/e-report/r03/index.html>)

● 地域の自然や歴史を感じる公園づくり



身近な自然・遊び場の継承

- 東日本大震災によりバラバラとなった地域コミュニティの形成、地域に根差した住宅・まちづくりなどによる震災復興の支援を行ってまいりました。川原川公園(岩手県陸前高田市)では、かつての花見の原風景を復活させる桜を植樹、日常の中に存在した身近な自然・遊び場としての河川空間を創出しました。

● 自然を介したコミュニケーション(野菜の植え付けと収穫)



団地の広場に設置したプランターで野菜作り

- 高齢化の進む団地では、多様な世代の交流の場を確保し、コミュニティの活力を維持するためミクストコミュニティの形成を進めています。ハイタウン塩浜(千葉県市川市)では、団地内のコミュニティカフェと連携し、団地の中央にある広場に手作りのプランターで、野菜の植え付け・収穫を実施したことで新たなコミュニケーションが生まれました。

「UR都市機構 グリーンインフラ」
(<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/greeninfra/index.html>)

プラットフォームより

■国土交通省の動き

緑地政策におけるグリーンインフラの実装に向けた検討会 資料集 (2021年8月発行)

令和2年度に設置された本検討会では、グリーンインフラを地方公共団体がより一層計画・活用できるよう、グリーンインフラ戦略としての緑の基本計画のあり方および防災・減災の観点からの緑地保全制度の活用促進について検討しています。本資料集には、検討会にて示された資料や委員意見が整理されています。

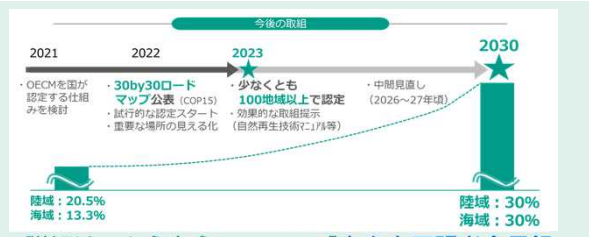
詳細はこちらから ▶▶▶ 「都市局公園緑地・景観課資料集」
(https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_fr_000037.html)

■関係省庁の動き (環境省)

生物多様性関係

2021年8月27日 小泉大臣記者会見

次期生物多様性国家戦略の検討の開始と「30by30」(2030年までに陸域・海域それぞれ30%以上を自然環境エリアとして保全する取組)について、小泉大臣より発言がありました。



詳細はこちらから ▶▶▶ 「小泉大臣記者会見録」
(<https://www.env.go.jp/annai/kaiken/r3/0827.html>)

プラットフォーム活動報告

2021年9月8日

企画・広報部会ワークショップを開催しました！

<テーマ>
「グリーンインフラのビジョン(めざす社会)について」

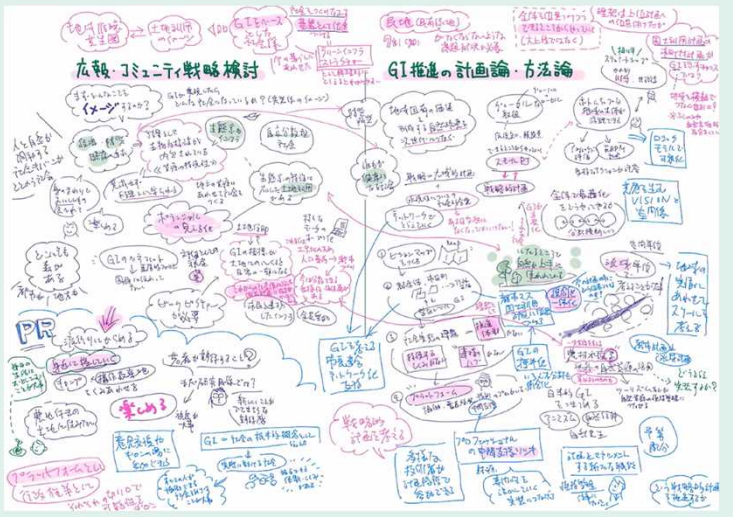
以下の2グループに分かれてディスカッションをした後、全体で議論を行いました。

- ・広報・コミュニティ戦略検討グループ (国民視点)
- ・計画論・方法論検討グループ (事業推進視点)

結果概要

ワークショップでは、グラフィックレコーディングを活用して、議論の「みえる化」を行いました。

※本ワークショップの結果は、今後幹事会や専用サイトにおいて紹介する予定です。



グラフィックレコーディングの様子

会員情報

会員数:1187人・団体 (2021年8月31日時点)

● 新たな三号会員 (民間企業、学術団体等)

- 特定非営利活動法人地域と自然 NKCS合同会社
- 東京都環境公社東京都環境科学研究所
- 九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室
- 日本水工設計株式会社
- 株式会社千代田コンサルタント

人物紹介

グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



はせがわ けいいち
長谷川 啓一 出身:神奈川県
EYストラテジー・アンド・コンサルティング
Government & Real Estate

総合コンサルティングファームに在籍し、グリーンインフラやNbsを活用した持続的発展のための活動をしています。Social Agenda Teamという社会課題解決チームに所属し、自然資本活用による経済発展や地方創生を主要テーマとし、コンサルティング業務を展開しています。

グリーンインフラ 民間連携プラットフォーム

プラットフォーム専用サイトへ <https://gi-platform.com/>

新規登録
はこちらから

随時会員募集!
(登録無料)

団体でも個人でも登録可能です。
是非左記サイトからご登録をお願いします!